

## 当院における経管栄養の60例

第一病院 看護部<sup>1)</sup> 栄養科<sup>2)</sup> 外科<sup>3)</sup>

大川淳子<sup>1)</sup> 奥村恵美<sup>1)</sup> 戸澤弥紀<sup>1)</sup> 石伊のぞみ<sup>1)</sup> 河井美穂<sup>1)</sup>  
竹田陽子<sup>1)</sup> 東香菜美<sup>2)</sup> 垣内祥<sup>2)</sup> 五嶋博道<sup>3)</sup> 帆刈睦男<sup>3)</sup>

当院は療養、介護棟の258床を有しています。経管栄養患者は60名(23%)でAD、LW、ACPに基づいています。PEGが28例、NGよりが30例、空腸瘻が2例です。検索項目は、年齢、性、基礎疾患、施行期間、投与カロリー、BMIに加え看取り例が多いことにより、介護度、FIMにも検索を加えました。

基礎疾患では脳血管障害が多く32例(53,3%)で認知症も20例(33,3%)でありその他はパーキンソン病、糖尿病、肝、腎、心疾患の高齢に伴う摂食嚥下障害でした。

施行期間はPEGの平均2,3年、最長は10年を超え、NGよりが平均2,3年で最長は6年を超えています。

投与カロリーは基礎代謝カロリーを参考にしており、600kcal~1200kcalです。BMIは10,8~26,5平均17,4で、BMIのクリチカルポイントは15,0と考えます。FIMをみると最低値の18点が多く、77点の統合失調症の73歳はPEGより離脱でき、全粥食、副刻みまで回復しています。

興味のある症例として92歳、腎不全(Cr 3,0、BUN 80)3年後もPEGにて腎機能もほぼ横ばい例とPEG離脱例を供覧します。